



学塾通信 1 月号（第 157 回）

～学塾は一人ひとりが目標に向けて真摯に取り組む教室である～

12 月 22 日(月)～12 月 30 日(火)は通常授業はありません。講習会授業のみ実施します。

12 月 31 日(水)～1 月 3 日(土)までは年末年始休校日です。

通常授業は 1 月 5 日(月)から再開します。

「君がいたから 君といたから どんな苦しみも乗り越えられた」これは 5 人組バンド wacci の『空に笑えば』という歌のワンフレーズです。11 月 8 日(土)に実施をした高校受験生対象の塾長講座で 12 期生の先輩 2 人が受験生の質問に答えてくれました。受験生から「辛いときはどのようにして乗り越えましたか？」という質問がありました。先輩からのアドバイスは「学塾の自習室を活用した」というものでした。「塾に来ると色々な先生が声をかけてくれた。〇〇さん頑張っているね。今日も来てるの、偉いやん！など、不純な動機かもしれないけれど、私はそれで頑張ろうと思えた。」

それを聞いた時、私は冒頭の歌詞が頭によぎりました。彼女にとって「君」は学塾の先生であったのでしょうか。ある人にとって「君」は同級生、もしくは保護者様、さらには学校の先生であるかもしれません。一人でやり切ることができるのが理想かもしれませんが、そんなに強い人ばかりではありません。一人で難しければ頼れる人に頼ればよいと思います。高校受験生には、塾長講座を実施し受験生全員で取り組む時間を設けており、定期テスト前にみんなで学習会をしています。一人では難しいことでもみんなでやれば普段以上の頑張りができるはずです。

今年も受験生に絵馬を書いてもらいました。中学受験生が素敵な願いごとを書いていました。

「みんなで志望校に合格しますように」

「みんなで」というのが良いですね。私も同じ思いです。塾生全員が希望する学校へ進み、新たなスタートを切ることができればこれ以上のことはありません。私たち講師も伝えることは伝えきったという形で送り出すつもりです。受験生のみなさん直前特訓を頑張りましょう。

さて、2025 年も残すところ数週間です。今年一年を振り返ると、トランプ大統領就任、それに伴う関税政策への対応、大阪関西万博の開催、女性初の総理大臣誕生、政策金利の引き上げ、備蓄米の放出、クマによる死傷者数の増加など色々な出来事がありました。みなさんの印象に残っている出来事は何ですか？私の印象に残った出来事は堀江中学の 1 学期中間テストです。まさか昨年より 1 週間早くなるとは思いもしていませんでした。GW 中の授業実施を決めたことで保護者様・講師陣にも急な対応をお願いすることになりました。GW を休みにしている塾がほとんどでしたが、学塾としては塾生に良い準備をして今年最初の試験に送り出すことができたと思っています。

保護者のみなさま、今年 1 年、多大なご協力をいただきありがとうございました。

来年もよろしくお願いいたします。よいお年をお迎えください。



○保護者面談について(随時受け付けています。)

面談を希望される方はアプリから連絡をお願いします。日程調整をします。

○入試情報等について

各学校から届いた案内や入試に関する情報は、学塾の X(Twitter)にて配信しています。

○教室への連絡について

2026 年 3 月以降はメールでの一斉連絡を終了し、すべてアプリからの連絡とさせていただきます。学塾通信は紙での配布を終了します。まだアプリを使っていない方は移行準備をお願いします。

○新年度カレンダーについて

2026 年 3 月以降の予定については、例年通り 4 月末までの暫定版を次月の教室通信とあわせてお伝えします。5 月以降の予定は堀江中学の年間行事を見て確定版を作成します。

○新年度授業料について

新年度授業料について検討をした結果、次年度も変更なしで進めることにしました。

○冬期講習会について

講習会受講者には申込書の控えを同封しています。日程の確認をお願い致します。

○2026 年度費用一覧について

中学受験コースは 2 月(1 月末の引落し)、それ以外のコースは 3 月(2 月末の引落し)から新学年の授業料となります。よろしくお願い致します。

学塾【URL】 <https://gakujoyuku.com>
【X】 <https://x.com/gakujoyukuhorie>

【FACEBOOK】 <https://www.facebook.com/gakujoyuku>
【Instagram】 <https://www.instagram.com/gakujoyuku/>

○新中学 1 年生について

面談のご案内と授業時間帯の調整のお願いです。

中学校に進学するにあたり、ご希望の方に面談を実施します。

受講科目や時間帯、高校受験についてのご相談がある方はアンケートの提出をお願いします。(アンケートは年明けに配布致します。)

一般的な進度では、2 月の授業から中学準備講座のテキストを使用する予定です。(各々の学習進度により時期は前後します。)

国私立中学進学者を除き、3 月から全員が高校受験コースへの進級となります。

進学先で部活動をする予定の方は、6 講目・7 講目の授業に移動しておくことをおすすめします。現在も、堀江中のバレーボール部・吹奏楽部の方の多くが 7 講目の授業に来ています。毎年、仮入部が終わる 5 月から遅い時間帯に変更したいという声をいただきますが、この場合二つご留意いただきたいことがあります。

- ・ご希望の時間帯に席が無い可能性がある。
- ・遅い時間帯(授業終了時刻:21 時 50 分)の生活リズムに合わせるまで時間がかかる。

上記より、新年度が始まる 3 月から 6・7 講目の席を押さえておくことをおすすめします。

塾を優先して部活を早退するつもりで、学塾の授業を早い時間帯のまま変更をしない方もいます。しかし、実際に部活が始まってみると、部活を早退しにくいという理由で 5 月頃に時間帯変更の連絡をいただくことがあります。連絡をいただいた時にはご希望の時間帯に空席がなくお取りできないこともあります。ご了承ください。

☆小学生☆

○読書のススメ

今年は 9 月以降、本を読むことについてお伝えしてきました。

俵万智 「生きる言葉」(学塾通信 9 月号)

谷川俊太郎 「はだか 谷川俊太郎詩集」(学塾通信 10 月号)

夏目漱石 「坊ちゃん」(学塾通信 11 月号)

サン＝テグジュペリ 「星の王子さま」(学塾通信 12 月号)

受験生の語彙力や読解力に対して何らかのアプローチが必要であること、そして子どもたちに文章を理解する力を身につけてもらいたいという思いから本の紹介を始めました。

エンタメが豊富な時代ということもあり意図して機会を作らなければ学校の授業でしか活字に触れません。興味がある内容で、読みやすい本を選んで読むようにしましょう。文章から情景が思い浮かぶことや登場人物の気持ちがわかるということの凄さが実感できれば言葉に興味が出てきます。そこから語彙が

増えていきます。

本のすべては人が書いた文章であり、読み手に伝えたいことがあります。

接続詞の後に注目をするという説明文や物語文の読解テクニックがありますが、テクニックと言うまでもなく接続詞がどのような時に使われるのかを学ぶことで自ずと接続詞の使い方が理解できます。

今年最後に紹介する本は芥川龍之介「杜子春」です。

大正時代の作品が今でも読み継がれていることだけでも驚かされます。中学1年生は教科書で「トロツコ」という作品を学びますが、杜子春も面白い作品です。

紆余曲折を経て、杜子春の最後の言葉がどのような意味を持つのかを感じてもらいたいです。

○中学生のお約束について

新中学1年生のみなさん

公立中学に進学するみなさんに「中学生のお約束」を配布しています。（先月号に同封）

小学部から中学部に進学するにあたり、確認して欲しい教室からのお願いです。中学校生活に慣れ、充実した3年間になるように一緒に頑張りましょう。これまでの指導経験を基にお約束を作っています。

保護者のみなさまへ

中学校の3年間は長いようであつという間に過ぎていきます。いろいろなことに興味を持ったり、親に反発したりという時期もあるかと思いますが、それは決して特別なことではありません。成長過程のひとつです。

☆中学受験生☆

○6年生

入試当日について

入試当日は緊張すると思いますが、これまでの頑張りを信じて安心して試験に臨んでください。

今年の中学受験生は、開校以来一番落ち着いて頑張ることができた代です。私たちから自習に来よう声をかけるまでもなく主体的に取り組むことができていました。これからも学塾の中学受験生に語り継がれる代になるでしょう。

みなさんの頑張りに心から拍手を送りたいと思います。入試当日にベストが尽くせることを願っています。

入試後の授業は受験科目で扱っていない英語・社会の授業に充てていきたいと思います。1月はこれまでの通塾時間と同じ時間帯にお越しください。

2月以降は週2回、英語・数学での通塾をおすすめします。（近年の中学生を見ていると、英語学習は必須です。）折を見て保護者様に相談させていただきます。

どの私立中学に進学をしたとしても、公立中よりはよい進度になり、取り組むことも多くなります。受験の終わりは新たなスタートだと切り替えて、新しい環境でも頑張ることが大切です。

○5 年生

入試まであと 1 年 1 ヶ月です。来年の 9 月から受験校の入試問題を解いてくことを考えると、受験勉強のための時間をもう少し増やしていきたいです。塾の宿題が終わってからが自分のための自習時間です。取り組むべきことは、これまで習ってきたことの復習です。塾の宿題だけでは学習の絶対量が足りません。塾のテキストを繰り返し練習していきましょう。

○4 年生

5 年生になると教科数が増えます。算数は週 1 回ではなく週 2 回になります。算数を週に 2 回と受験校に必要な科目での学習です。通塾回数が増えることに慣れてもらうこと、そして自主学習の時間を確保していくことから始めていきましょう。塾の宿題を終わらせ、そこからの学習が自主学習です。

慣れるまでは自習に来る曜日と時間帯を決めても良いかもしれません。

中学受験はとても厳しい道のりです。これから 2 年間、ひとつずつできることを増やしていきましょう。

☆中学 1・2 年生☆

○中学 1 年生

2 学期の期末テストも終わり、あとは学年末テストを残すだけとなりました。

この 1 年はとてもはやく感じたのではないのでしょうか。

勉強の成果は取り組む人の「気持ち」も大きく影響します。高い点数を取っている人の勉強に対する取り組みと、そうでない人の「頑張っています！」はかなりの違いがあります。「○○はあまり勉強をしていないのに点数は高い。」という声を聞くことがありますが、そんなことはありません。結果を残している人は十分に準備をして臨んでいます。そのことを理解して欲しいです。

自分では頑張っているつもりなのに結果が伴わない人については、取り組んでいる内容を精査する必要があります。このやり方で良いのかという迷いがある人は相談に来てください。学年末に向けて作戦会議をしましょう。

○ミニテスト開始

公立中学生で定期テスト 400 点以下の方には毎週のミニテストが始まります。(新年度より) 月曜日に配布、その週のうちに解いて提出箱に出してください。これは通常授業の宿題以外の課題です。

○令和 10 年度入試について

現在の中学 1 年生から入試制度に変更があります。

大阪府のホームページに掲載されている資料を学塾の X に転載しています。(2025 年 11 月 27 日です。)
ご確認をお願い致します。

○中学 2 年生

受験学年を迎えるにあたり大切なことは「変化をつくること」です。何もしなければずっと中学 2 年生の延長です。変化をつくるために、夏休みまでは厳しい言葉をかけることも出てくると思います。持ち物の管理や時間を守ること、自習時の姿勢についてなど例年以上に細かな指導が必要な学年です。一朝一夕で成果がでることではありませんので、継続して取り組んでいきます。

ご家庭でもご協力よろしくお願いします。

○次年度からの受講科目について(先月と同じ内容です。)

高校受験生は受験指導の関係上、英数は必須受講となります。

3 月の新年度開講から授業をスタートできるよう、習いごと等の調整をお願いします。

現在、数学もしくは英語のみの単科受講の方は、3 月より英数での受講をお願いします。

○新中 3 第 1 回 塾長講座について(文書を同封しています。)

今年度同様、月 1 回を目安に塾長講座を実施します。

第 1 回 2026 年 1 月 24 日(土) 17 時 45 分～19 時 00 分

この日は受験学年に向けてのオリエンテーションです。

全員参加をお願いします。参加できない場合は申込書に添付している欠席届を提出してください。

○模試について

第 2 回 五ツ木模試 2 月 1 日(日)

希望者のみの受験です。

受験を希望される方のみ申込書を提出してください。(申込書は後日配布します。)

○新中学 3 年生(高校受験生) 保護者説明会

高校受験に向けて 1 年間の方針をお伝えします。

2 月 11 日(水・祝) 13 時 30 分～14 時 30 分

欠席の方には後日資料をお渡し致します。

○特進コース

中間テスト・期末テストの結果を参考に、該当する方には特進コースの受講証をお渡しし希望される方には内容についてご説明します。

○同意書について

次年度からの指導について、同意書を配布しています。
内容をご確認いただき署名の上、用紙の提出をお願いします。

学塾では高校進学以降に繋がる受験をしてもらいたいと考えています。

そのため、推薦で高校から内定が出たので勉強をしなくても良いという指導はしません。高校進学以降のために一般受験で合格できるような学力をつけるよう指導します。

当然、受験に関する各種講座も部活動等での推薦をいただいた方も受講していただくことになります。
同意書にも同様のことを書いています。必ずご確認の上署名をお願いします。

同意いただけない方は新年度からの授業を受けていただくことはできません。

☆高校受験生☆

○入試直前特訓について

12月20日(土) 12時30分開始です。12時30分に間に合うように来て下さい。

持ち物:全員 筆記用具 ・ β コース 受験校の過去問

○高校受験生 入試出陣式について

入試当日の注意点のお知らせや講師陣からのアドバイスを学塾の恒例行事です。

2月7日(土) 直前特訓終了後

直前特訓受講者は、直前特訓終了後に引き続き出陣式を行います。終了は20時30分頃になります。

○受験終了後のアンケートについて(2月上旬に配布予定)

次年度の新入塾生の受け入れ人数を把握するために、受験後の継続希望アンケートを実施します。
現時点での希望をお聞かせください。

中学校では5教科の教科書総ページは1,360ページでしたが、高校ではなんと6,232ページにもなります。ページ数だけで4.58倍です。科目数も増えるため、可能な人は高1の中間テスト辺りまでは続けて学塾で学習することをお勧めします。

中学で一旦学塾は卒業という方は3月末までには高校準備をして進学に備えて下さい。

私立専願での受験生は高校入学まで1ヵ月以上間が空きます。併願で進学してくる生徒は自分たちより高い基準で進学してくることを意識して、この1ヵ月を過ごしてください。

○模擬テストについて

第8回 五ッ木模試 1月25日(日) 希望者のみの受験です。



☆大学受験生☆

○リアルタイムオンライン個別指導コースについて

テスト科目が多い高校生が受講科目に関わらず 24 時間いつでも質問できるように、1 年前に導入した「リアルタイムオンライン個別指導コース」を 12 月末で終了することにしました。

体験等も行い実際に塾生に利用してもらいましたが、思ったように普及はしませんでした。高校生のためにできることを今後も考えていきたいと思います。

さて、高校 2 年生のみなさんは再び進路を考える学年になりますね。

中学 3 年生のときには「どこの高校に行こうか？」ということを考えて、1 年間準備をしてきました。しかし、今回の進路選択はもっと幅広い選択肢があります。大学進学(国立・私立)・専門学校・就職・留学など、本当に十人十色です。社会に出てからの職業にも関わる進路選択ですので、しっかり考えてください。今月は現時点での希望調査を取らせていただきます。まだ具体的に決まっていない人は大学進学希望・専門学校希望などでも構いません。現状を教えてください。

○合格速報

京都女子大学 家政学部 食物栄養科
武庫川女子大学 食物栄養学部 食物栄養科

合格おめでとうございます！

小学 5 年生から学塾に通ってくれていました。高校受験・大学受験ともにすべての受験校に合格することができました。本当におめでとう。

堀江中学・清水谷高校ではとも水泳部に所属し、良き友人とも巡り合い充実した 6 年間でしたね。

高校入学後は学校のレベルの高さに驚かされることもあったようですが、担当の藤岡先生・塩月先生とともに粘り強く取り組んだことが実を結んだように思います。

これからは専門的な学びをしていくことになります。大学生活を楽しみながら、将来に向けて専門知識や教養を深め、ゆくゆくは社会人として活躍してくれることを願っています。

2025 年度 塾生募集について

【高校生】	募集終了
【高校受験 中 3】	募集終了
【高校受験 中 2】	募集終了
【高校受験 中 1】	募集終了 キャンセル待ち 4 名
【中学受験 小 6】	募集終了
【中学受験 小 5】	募集終了
【非受験 小学生】	募集終了